

# 総合教育会議（第1回）会議録

1 開会年月日	令和2年6月26日（金） 午後4時58分
2 場 所	笠岡市役所 市長室
3 出席委員等の氏名	笠岡市：市長 小林嘉文 教育委員会：教育長 岡田達也 教育委員 三谷信恵、石井啓弐、藤谷幸弘、山下敬広
4 欠席委員等の氏名	なし
5 会議に出席した者の職・氏名	教育部長 井上洋一、教育総務課長 虫明 隆、学校教育課長 山川達也
6 議事案件及び会議の概要	<p>1 開会</p> <p>2 挨拶 小林市長 岡田教育長</p> <p>3 議事</p> <p>(1) 新型コロナウイルス感染症に伴う緊急事態宣言解除後における学校教育について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まず、学校教育課長から市内小中学校の現状、児童・生徒の様子及び新型コロナウイルスの影響により中止・延期になった行事等の説明を行い、意見交換を実施。</li> <li>・3学期に臨時休業により出来なかった授業は4月になって1週間で消化するというので、ほとんどの学校は出来たという報告は受けている。4月から始まる新しい学年での学習内容は、年度始めなので計画が緩やかになっており、それを17日間分確保すればどうにか1学期の間に習得出来るということで、夏休みを短縮し対応する。</li> <li>・各学校からの報告と学校教育課が学校訪問で見える限りでは、臨時休業を挟んだからといって、困る子どもが増えたということはない。</li> <li>・小1については、暑くなってから学校生活がスタートし、慣れるのが大変という感じもある。もう少し細やかな状況把握が必要である。</li> <li>・朝、子ども達がマスクをして息苦しい様子で登校している姿を見るとかわいそうである。他市の一部の学校では、朝はマスクを外して距離を置いて登校していると聞く。心配な子はつけければ良いし、配慮してもらいたい。 ⇒通学時のマスクについては、ソーシャルディスタンスが確保出来るのであれば、柔軟な対応ということで指示したい。マスクについては柔軟に対応しようと国からも指示が出ている。休み時間は距離を置くことを条件に外している。</li> <li>・小学校について梅雨になって傘をさして登校の様子を見ると、1年生はまだあまり通学に慣れておらず、しっかり並んで登校はしていると思うが、ちょっと危ない部分もあつたりするのかなど気になる。 ⇒小学校については学校が再開したときに大体の学校で自転車のチェックとか乗り方、横断歩道の渡り方等の交通安全教室を実施して対応している。</li> </ul> <p>(2) 笠岡市小中一貫教育について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まず、学校教育課長から今年度市費で東中ブロック、西中ブロック、金浦中ブロックに配置している3名のコーディネーターの取組状況について説明を行い、意見交換を実施。</li> <li>・新吉中にも県の加配で、コーディネーター役になる先生が配置されており、主に授業を中心に小学校と連携をしてもらっている。その新吉中でやったことをモデルとして、市内の学校に基本的なやり方として提案をして、それを各中学校ブロックで肉付けをしていく予定。</li> <li>・今年度中に9年間を通したカリキュラムを編成したい。来年度から中学校の教科書が変わるので、来年度から使う中学校の教科書が決まったら、小学校・中学校それぞれの担当が集まって、教科書</li> </ul>

とにカリキュラムを編成していく。その人選は終わっており、夏休み中に最初の会を行って進めて参りたいと考えている。地域学についても竹喬美術館の利用などがどういう風に盛り込めるかということも併せて、今年度中に年間計画の案をそれぞれの学校ブロックで作るように計画をしている。

- ・令和2年度中の達成目標としては、各中学校ブロックごとの推進体制を構築すること、中学校ブロックごとのグランドデザイン案を作ること、それから、カリキュラム等年間指導計画を作成して、来年度からはその施行が出来るようにするという、を今年度中の目標として進めている。
- ・地域説明会も行う予定で日程調整している。施設一体型については最初の素案よりも前倒しにしたが、それに関わる金浦小学校、城見小学校、吉田小学校あたりにはまだきちんと説明が出来ていないので、そのあたりを早めに実施したい。

### (3) 笠岡市小・中学校の学校規模適正化計画について

- ・まず、学校教育課長から当面の学校規模適正化の動きについて説明を行い、意見交換を実施。
- ・六島は来年小学生が1人だけとなる。保護者の意向はまだきちんと確認出来ていないが、しっかり話をして、神外小学校にという風なことをおススメ出来るような話の場を持ちたいと考えている。
- ・スクールボートで島から神外に通う場合は、帰りの時間が違った場合、下校時間にあわせて船を走らせる必要があり、課題を洗い出さないといけないと思っている。
- ・白石の現在の小学生は、もうすでに神島外小学校にスクールボートで通っている。中学校は今、3年生と2年生が1人ずつで、この2年生の子が卒業した後、中学は神外ということで計画している。改めて地域も含めて説明を行いたい。
- ・北木は現在小学校6年生が2人で、まだ日程調整等何も出来ていないが個別に話が必要と思う。
- ・外浦の一体型校について、今の人数であれば、小・中どちらかにまとめることは可能である。中学校の方に集約するとした場合には、階段の高さとか特別教室の調理台とかの高さがどうなのか、その確認が必要となる。
- ・外浦については特別教室は小学校のを使用し、行き来するとした場合、今度は交通安全の問題が出て来るので、出来るだけ中学校に集約出来るような方法が良いと思う。


## 4 その他


### 2022年度以降の成人式の開催について


- ・平成30年6月の民法改正で成年の年齢が20歳から18歳に引き下げられた。施行日は2022年の4月1日。成人式の対象年齢や時期やあり方に関しては法律や条令等による決まりはなく、各自治体の判断で実施をされているところである。自治体は2022年4月1日までにそれ以降の成人式の対象年齢・開催時期・あり方などを決定しなければならない。
- ・成人式の対象年齢を18歳とした場合、どういった問題が起きるかと言うと施行年度には、18歳・19歳・20歳が一斉に成人式を迎えることになり、3学年分の成人式を開催しなければならない。また、18歳は受験や就活シーズン等の時期と重なるなど、問題が生じる。
- ・昨年の10月に市ホームページと市内高等学校にお願いして、アンケートを実施した。調査対象は、笠岡市内の5つの高等学校の高校生1,932名で、回答数は1,846人、回答率は95.5%。アンケート結果については、「成人式の対象年齢は20歳にした方が良い」というものが82.4%。それから「成人式はどの時期に実施するのが良いと思いますか?」という質問に対しては「1月」という回答が77.5%。次に「20歳を選んだ理由」については、「18歳だと受験・部活等の時期が重なるから」が731人、「20歳で実施することで友人と再会する機会になるから」が690人と、突出している。アンケート状況を踏まえ、事務局としては20歳に成人式を行うのが良いと考える。
- ・事務局からの提案に対して、市長・教育委員から異議はなく、成人式の年齢と日時について、総合教育会議としては20歳の1月とし、成人式の実行委員会にお伝えすることとする。


上記会議のてんまつを記録し、関係図書を添付して、その相違のないことを証するため、署名押印します。


令和2年 8月 2/日

笠岡市長 小林嘉文 

教育長 岡田達也 

教育委員 三谷信恵 

教育委員 石井啓弋 

教育委員 藤谷幸弘 

教育委員 山下敬広 